

【NEWS RELEASE】

2020年2月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社オフィスバスターズに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:高島 誠)は、株式会社オフィスバスターズ(代表取締役社長:熊谷 正慶)に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)が、企業のSDGs()に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ(ロジック)を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社オフィスバスターズについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

オフィス資産の買取・撤去・廃棄に関するトータルサービスによる廃棄物の削減

| | |
|----------------------------|---|
| 目標 11 住み続けられる まちづくりを | ターゲット 11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意をはらうことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。 |
| 目標 12 つくる責任 つかう責任 | ターゲット 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。 |

オフィス資産のリユース販売及びオフィス環境構築サービスによる資源効率の改善

| | |
|-----------------------------|--|
| 目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう | ターゲット 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。 |
| 目標 12 つくる責任 つかう責任 | ターゲット 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。 |
| 目標 13 気候変動に 具体的な対策を | ターゲット 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。 |

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。